



## 令和6・7年度特別委員会活動報告

令和6年6月に設置された特別委員会の2年間の活動を報告します

### まちづくり課題検討特別委員会

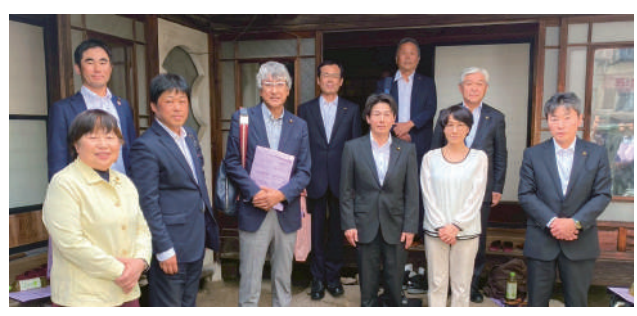
**当** 特別委員会は、高校再編に伴う周辺環境の変化を見据え、伊那北駅から伊那市駅間にわたる新たなまちづくりの整備と将来像について、計14回の委員会開催のほか、現地調査や行政視察、関係団体との懇談会を通じて多角的な調査・研究を進めてまいりました。

**調** 査の結果、中心市街地における空き店舗の増加が喫緊の課題であると再認識し、その利活用

**こ** れらを踏まえ議長に対し、空き店舗活用

焦点を絞った検討を行いました。西町地区での現地調査では、リノベーション事例や地域住民による支援の実態を確認し、山梨県韮崎市や群馬県前橋市などの視察では、官民連携や専門人材育成の先進事例を学びました。また、商工会議所との懇談会を通じて創業支援の実情や不動産流通の課題についても意見聴取を行いました。

を軸としたまちづくりの推進を報告しました。行政と関係団体が連携した包括的な支援体制の整備や、専門人材によるマッチング支援、創業者の実態に合わせた柔軟な制度設計を求めています。また、SNS等を活用した積極的な情報発信や、防災・防犯面も含めた将来的なまちづくりのビジョンの策定を報告に盛り込みました。



まちづくり課題検討特別委員会委員

### 人口減少対策特別委員会

**全** 国的に進む少子高齢化と大都市集中の流れから、少しでも人口減少を抑制できる方法はないのかと、当特別委員会が設けられた調査研究を重ねてきました。2年間にわたる調査研究により、数多くの問題点の中から、テーマを

**①伊那市で女性が働くことが出来る職場の拡充**  
**②婚姻率を上げるための方策**

に絞り込みました。

**具** 体的に実行するための方策として、市から企業への積極的な働きかけ、就業対策の強化、女性が就職するための技術習得、いなし出会いサポートセンターの充実、移住婚対策に報告しました。

現実的には人口減少は避けられない社会情勢から、いかに魅力ある伊那市や魅力ある伊那市の施策をつくり、その魅力を発信する

**今** 後は、市民や事業者、関係団体と連携し、「誰もが能力を発揮しやすい環境づくりにつながるよう、意識啓発や理解促進に取り組むことが重要である。」と、当委員会では結論をまとめました。

取り組みにより、より多くの転入者を増やすことで人口減少を少しでも緩やかに推移させる方向性が大切であると考えます。



人口減少対策特別委員会委員